

### これまでの活動報告

平成28年3月29日発行

#### ☆秋田県内でびわ葉療法を普及させる「いきいき美輪の会」を組織しました

○びわ葉の様々な効能に着目し、びわ葉療法を県内に普及することを目的とする「いきいき美輪の会」が組織されました。今後、当NPO法人の活動と連携した活動を展開していきます。

#### ☆「機能性に関する研修会・交流会」に参加しました

○平成27年11月12日に、秋田県で主催・開催した「異業種交流会（農産物等の機能性関連）」にNPO法人として参加し、県内の農産物などの機能性に関する知識の向上を図るとともに、60人以上の県内の大学研究者、健康食品製造事業者等と交流を深めました。



#### ☆NPO役員の知識やスキルアップのための研修を実施しました

##### 1 薬草に関する知識向上研修

平成27年7月23日（講師 越後谷薬局（秋田市）越後谷様）

##### 2 筋肉の働きや、効果的な改善方法（EMS活用）についてのスキルアップ研修

平成27年7月30日～平成28年1月26日（計4回実施）

（講師 堀理事（伊藤超短波（株）））

##### 3 高齢者福祉の基礎知識向上のための研修

平成28年2月18日（講師 伊藤様）



### 研修会開催の ご案内

ご自身や大切なご家族の心身の不調を、自らの手で改善するための知識や技術を習得できる研修会を開催します！

### 開催スケジュール

- 開催日時：6月19日（日）13:00～15:00  
7月24日（日）13:00～15:00  
8月21日（日）13:00～15:00  
（開催スケジュール等の詳細は、ホームページや研修案内をご覧ください）
- 開催場所：秋田市山王 ルポールみずほ 2階 ふじ
- 対象者：誰でも参加できます ※5月末までの事前申込が必要となります
- 受講料：1,000円／回
- 募集人数：各回 先着20名



研修の詳細や申込はホームページをご覧ください

NPO 健康秋田

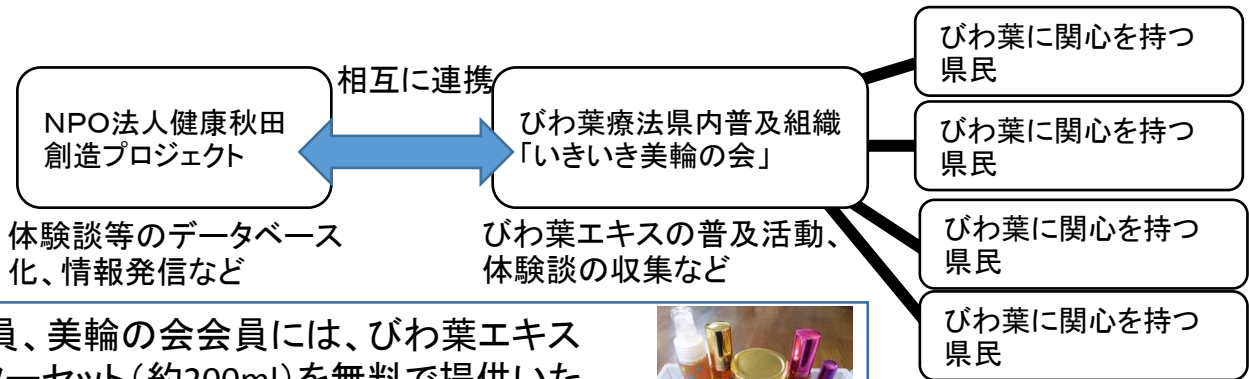
検索

## びわ葉療法を普及させる「いきいき美輪の会」の概要

### ☆目的

○びわ葉の様々な効能に着目し、びわ葉療法を県内に広く普及し県民の健康向上を図ります。

### ☆組織



NPO会員、美輪の会会員には、びわ葉エキススターターセット(約200ml)を無料で提供いたします。



## びわの特徴等

○びわはバラ科の植物で、その葉や種には優れた薬効のあることが古くから知られています。葉の成分としては、有効成分とされるアミグダリンのほか、ブドウ糖、蔗糖、果糖、マルトース、澱粉、デキストリン、酒石酸、クエン酸、リンゴ酸、タンニン、サポニンなどが含まれており、抗ガン作用、鎮痛作用、殺菌作用、血液浄化作用があるといわれています。

○びわに優れた薬効のあることは古くから知られており、仏典のひとつ『大般涅槃経』（だいはつねはんぎょう）の中で、びわの木は「大薬王樹」、びわの葉は「無憂扇」と言われ、「大薬王樹、枝、葉、根、茎ともに大薬あり、病者は香を嗅ぎ、手に触れ、舌に嘗めて、ことごとく諸苦を治す」と、その薬効が紹介されています。

○日本では、730年に聖武天皇のお妃の光明皇后が「施薬院」を創設し、びわの葉療法を行ったとされています。その後僧侶が寺の境内にびわの木を植えて村人などにびわの葉療法を行い、病人を救うようになりました。「縁起が悪いのでびわの木を庭に植えてはならない」というのは、びわの木に薬効があることが知られ、庭にびわの木のある家に病人が出入りするようになり、それを嫌ってそのような言い伝えが生まれたのではないかとされています。

### 【アミグダリン】

びわの葉に含まれるアミグダリンが体内に入ると、ガン細胞の中に多量に含まれているベータ・グルコシターゼという特殊酵素によって加水分解され、青酸とベンツアルデヒドとが遊離、ガン細胞はこの二つの物質の相乗毒性により破壊されてしまうとされています。なお、正常細胞にはローダネーゼという保護酵素があって両物質を無害な物質に変えてしまうため影響を受けないとされています。

また、アーネスト・クレブス博士は「ビタミンB17療法」あるいは「レートリル療法」として、アミグダリンの欠如が代謝活動に異常をもたらし、これが免疫力・抗菌力の低下につながり、ガンだけでなく心臓病・糖尿病など成人病の原因になると指摘しています。



### 【びわ葉を活用した代表的な療法】

**びわの葉エキス** びわの葉を焼酎等に漬けて作るびわの葉エキスは、口内炎や虫さされ、傷口の消毒などにも効果的なほか、風邪を引きにくくなる、胃腸が丈夫になる、疲れにくくなるなどとの効果が報告されています。

**びわの葉温灸** びわの葉をツボなどに当て、もぐさや治療器で温灸します。アミグダリンなどの薬理作用、温灸作用などにより大きな効果が期待されます。

当法人では、関連組織として「びわ葉療法県内普及組織 いきいき美輪の会」を組織し、会員の活用体験談や症状に応じた具体的な効果などをニュースレターやホームページで情報発信していきます。